

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170700175		
法人名	医療法人 天心堂 志田病院		
事業所名	グループホーム さくら荘		
所在地	佐賀県鹿島市大字中村2191-2		
自己評価作成日	平成23年11月5日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成23年11月25日	外部評価確定日	平成24年1月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>理念にもあるように、利用者様とのふれあいを大切に、生きる喜びを共有し、常に笑顔で、安らぎのある生活が送れるように支援している。継続的に家族会を行い、入居者様と家族様が楽しんで頂くように取り組み、家族様と職員の関わりを深め、入居者様を家族様と職員で一緒になり支え合う雰囲気作りに努めています。又地域密着型ということで、地域の方との交流にも力を入れ、避難訓練など地域の方の協力を得て実施しています。入居者の方が日々を笑顔で生活して頂くように、声かけを頻回に行い、笑い声の絶えないグループホーム作りに力をいれています。そのために、職員は個々のスキルアップの為にいろいろな研修に参加しています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>病院経営の中で地域に密着したグループホームの必要性を感じて設立された経緯があり、「一本の大きな木のよう に ～地域に安心と豊かさを～」という理事長の思いが全スタッフに浸透し、まさに地域の中で暮らしを支援していることが窺えるホームである。また母体が医療施設であり、必要時に医療との連携をとりながら安心して生活できる環境は、入居者や家族にとって大きなメリットと言える。生きる喜びを共有し、常に笑顔で接することをホーム独自の理念として掲げており、それが日ごろのケアに活かされていることが、利用者の表情や言葉から感じ取れる。法人内外の研修にも積極的に参加し、ホームのサービスの質をより向上させるため、全職員一丸となり取り組んでいる。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価/ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価/ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念・基本方針に基づき、さくら荘独自の運営理念をつくり、毎朝朝礼時に唱和し、その実現に日々精進している。	法人理念・基本方針に基づき、さくら荘独自の運営理念をつくり、毎朝朝礼時に唱和し、その実現に日々精進している。	「話をよく聞き、認め、受け入れ、その人らしさを大切にすることが理念の一節にあげられているが、理念を作った時の思いを日々の実践に活かすため、職員育成に努めている。困難時には、「もし自分の親だったら・・・」という言葉で共有し、入居者の尊厳を守るケアに繋げている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	回覧板を回していただき、いろんな情報を収集できている。又、法人やさくら荘の行事の案内も回覧板で回していただいている。	回覧板を回していただき、いろんな情報を収集できている。又、法人やさくら荘の行事の案内も回覧板で回していただいている。	商店街の中で、入居者や職員が顔なじみになり、地域に支えられたホームである。地域密着型として、地元の行事や法人の行事での交流、ボランティアの受け入れ、清掃活動、回覧板の活用など多彩である。近隣の喫茶店に出かけたり、また、ホームに近隣の方も立ち寄れる雰囲気もある。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年1回介護保険部で健康教室を行い認知症に関する質問などがある場合は相談にのっている。	年1回介護保険部で健康教室を行い認知症に関する質問などがある場合は相談にのっている。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月毎に開催し、生活状況や行事などをスライドで紹介している。市役所の方より介護保険制度の現状などを話していただいたりして、情報を共有させていただいている。	2ヵ月毎に開催し、生活状況や行事などをスライドで紹介している。市役所の方より介護保険制度の現状などを話していただいたりして、情報を共有させていただいている。	定期的に運営推進会議を開催し、ホームの状況を理解して頂いている。区長を通じ地域交流の活動に繋げたり、第三者評価委員から地元の評価を聞くなど、活発な意見交換ができています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議にて実情を報告している。	運営推進会議にて実情を報告している。	会議で市町村担当者から情報を得る機会が多く参考になっている。ホームの研修会に講師を依頼したり、市役所でグループホーム交流会を開催している。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会を実施し、身体拘束をしないケアを行っている。法人内に身体拘束廃止委員会あり、毎月検討会を行っている。	勉強会を実施し、身体拘束をしないケアを行っている。法人内に身体拘束廃止委員会あり、毎月検討会を行っている。	法人内に身体拘束廃止委員会あり、ホームの職員も毎月検討会に参加している。玄関の施錠も日中はせず、ドアに鈴をつけるなど工夫したり、又ケアの工夫により、精神面で落ち着かれる入居者の事例もあり、職員の意識も高い。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を実施し、体の異変などがないかなど注意を払っている。	勉強会を実施し、体の異変などがないかなど注意を払っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在活用されるような対象者はいらっしゃらない。勉強会は行った。	現在活用されるような対象者はいらっしゃらない。勉強会は行った。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前に入院治療時の為退去される場合は主治医より十分説明して頂き納得されている。困っている事があれば、相談にのり出来るだけの援助をおこなっている。洗濯物など。	事前に入院治療時の為退去される場合は主治医より十分説明して頂き納得されている。困っている事があれば、相談にのり出来るだけの援助をおこなっている。洗濯物など。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年2回の定期的なアンケートの実施し質問や改善点を含め結果を公表している。面会時にはなるだけ状況を説明し、意見を聞くようにしている。	年2回の定期的なアンケートの実施し質問や改善点を含め結果を公表している。面会時にはなるだけ状況を説明し、意見を聞くようにしている。	家族に定期的なアンケートを実施し、結果を家族、法人内等に公表し、サービス向上へ繋げている。環境面での意見があり改善できた例もある。入居者からの食事アンケートも参考になっている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年1回の定期的なアンケートを実施し質問や改善点を含め、結果を公表している。又年2回の個人面談を実施し意向をきいている。	年1回の定期的なアンケートを実施し質問や改善点を含め、結果を公表している。又年2回の個人面談を実施し意向をきいている。	外部研修での職員の学びをホームで参考にし、改善したり、資質向上につながった事例もある。日ごろの疑問を伝えることができる環境を作り、意欲や向上に繋げている。アンケートや個人面談で個々の意見をすい上げる機会もつづけている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を年2回実施し、スキル評価を行なっている。又勤務表作成時、希望休みを聞き、又有給も取得しやすい環境作りに努めている。	人事考課を年2回実施し、スキル評価を行なっている。又勤務表作成時、希望休みを聞き、又有給も取得しやすい環境作りに努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	教育委員会が中心となり、法人内外の研修の推進をしている。月1回さくら荘内の勉強会の実施や法人内の勉強会に参加している。法人外の勉強会にも有給を使用しながら参加できるように配慮している。	教育委員会が中心となり、法人内外の研修の推進をしている。月1回さくら荘内の勉強会の実施や法人内の勉強会に参加している。法人外の勉強会にも有給を使用しながら参加できるように配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	鹿島・太良・塩田地区のグループホーム交流会を毎月実施し、情報交換や勉強会を実施している。	鹿島・太良・塩田地区のグループホーム交流会を毎月実施し、情報交換や勉強会を実施している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に面会に行き、本人様や家族様と話し、要望などを聞くようにしている。入居初期には常に声掛けを頻回にし、寄り添うケアに努めている。	入居前に面会に行き、本人様や家族様と話し、要望などを聞くようにしている。入居初期には常に声掛けを頻回にし、寄り添うケアに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	担当のケアマネージャーより、色々な情報を頂き、職員と家族様の関係作りに配慮している。家族様の困っている事や不安な事などを聞きだし、気持ちを共有するようにしている。面会時には状況説明に努めている。	担当のケアマネージャーより、色々な情報を頂き、職員と家族様の関係作りに配慮している。家族様の困っている事や不安な事などを聞きだし、気持ちを共有するようにしている。面会時には状況説明に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	リハビリの希望がある場合などは、医師やPTに相談しリハビリ訓練できるような環境になっている。	リハビリの希望がある場合などは、医師やPTに相談しリハビリ訓練できるような環境になっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事作りた洗濯物たたみなど、家事一般を職員と一緒にやる事で、共に暮らす雰囲気作りで配慮している。	食事作りた洗濯物たたみなど、家事一般を職員と一緒にやる事で、共に暮らす雰囲気作りで配慮している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会を立ち上げている。家族様も参加して頂く行事を年6回実施し、利用者様と家族様の関係が途切れないように支援し、家族様と一緒に、利用者様を支えていく関係作りに努めている。	家族会を立ち上げている。家族様も参加して頂く行事を年6回実施し、利用者様と家族様の関係が途切れないように支援し、家族様と一緒に、利用者様を支えていく関係作りに努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域行事や希望場所への外出など要望を聞き、できる限り送迎し関係が途切れないように支援している。	地域行事や希望場所への外出など要望を聞き、できる限り送迎し関係が途切れないように支援している。	知人や友人、親類の方などこれまでの関係を把握し支援している。行きつけの美容院や買い物、自宅への送迎など、個別の希望も聞き、関係が途切れないよう、できる限り支援している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士話などされる際、聞こえずコミュニケーションが一方通行にならないように、職員が間に入り伝達している。	利用者様同士話などされる際、聞こえずコミュニケーションが一方通行にならないように、職員が間に入り伝達している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院入院治療の為、契約終了後も、家族様の状況によっては、洗濯物の回収・洗濯を継続している。とても感謝してもらっている。又、終了後、独居になられた、奥様と連絡をとり、遊びに来ていただいたり、訪問したりしている。	病院入院治療の為、契約終了後も、家族様の状況によっては、洗濯物の回収・洗濯を継続している。とても感謝してもらっている。又、終了後、独居になられた、奥様と連絡をとり、遊びに来ていただいたり、訪問したりしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の会話の中で思いを引き出し、ケアプランに反映している。困難な場合は家族様や親戚の方からの思いを聞き反映している。	日頃の会話の中で思いを引き出し、ケアプランに反映している。困難な場合は家族様や親戚の方からの思いを聞き反映している。	「話をよく聞き、相手を認め、受け入れる」という職員の思いの下、日常のケアの中で、個別に思いを聞く時間を持ち、意向を把握するよう努めている。そして、「本人の立場に立って考える」という一環した職員育成の考え方が根づいている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活歴などを、事前面接記録を活用し把握に努めている。又、担当ケアマネージャーに情報を詳しく聞き、家族関係などの把握に努めている。	入居前に生活歴などを、事前面接記録を活用し把握に努めている。又、担当ケアマネージャーに情報を詳しく聞き、家族関係などの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常一緒に暮らす事で、個々の状態把握に努め、新しい発見などは日誌やケース記録に記入し、月1回のケースカンファレンスで報告したりして、職員間で情報の共有に努めている。	日常一緒に暮らす事で、個々の状態把握に努め、新しい発見などは日誌やケース記録に記入し、月1回のケースカンファレンスで報告したりして、職員間で情報の共有に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	6ヶ月に1回職員、医師などが参加しケアプラン検討会を実施している。家族様の参加がないときは事前に要望を聞くようにしている。	6ヶ月に1回職員、医師などが参加しケアプラン検討会を実施している。家族様の参加がないときは事前に要望を聞くようにしている。	ケアする側からの計画ではなく、入居者や家族の気持ちを重視した個別の計画が立てられ、介護経過、モニタリング、評価へ繋がっている。検討会には理事長も医師の立場から出席し、入居者や家族の意向を理解し、職員一丸となり実践している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日誌・日々の個人記録、ケアプランの実施状況、ケアプランに対してのモニタリング、評価を実施し、ケアプランの見直しに活かしている。	日誌・日々の個人記録、ケアプランの実施状況、ケアプランに対してのモニタリング、評価を実施し、ケアプランの見直しに活かしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入院中の洗濯物の管理。散髪の出張サービスの受け入れ。眼科受診や他病院にての検査の付き添いなど行っている。銀行との連携による支払いだしの援助も行っている。	入院中の洗濯物の管理。散髪の出張サービスの受け入れ。眼科受診や他病院にての検査の付き添いなど行っている。銀行との連携による支払いだしの援助も行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の活用は少ない。地域の行事などに積極的に参加するように心がけている。	地域資源の活用は少ない。地域の行事などに積極的に参加するように心がけている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に当院のかかりつけでない方には、今までのかかりつけでも良いと説明するも、全ての方が病院との併設な事が安心との理由で入居希望したと話され、かかりつけを当院にされている。	入居時に当院のかかりつけでない方には、今までのかかりつけでも良いと説明するも、全ての方が病院との併設な事が安心との理由で入居希望したと話され、かかりつけを当院にされている。	本人や家族が希望するかかりつけ医での受診を支援している。ホームでのケアと医療が連携し、質の高いサービスが提供できていることが、入居者と家族の安心に繋がっている。眼科や耳鼻科など他科へは受診付き添いをしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人外来看護師が定期的に来て頂いたり、日々些細な事も報告し、状態把握をしてもらっているため、緊急時の対応がすばやくできている。夜間帯は病棟看護師に連絡し対応して頂いている。	法人外来看護師が定期的に来て頂いたり、日々些細な事も報告し、状態把握をしてもらっているため、緊急時の対応がすばやくできている。夜間帯は病棟看護師に連絡し対応して頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は当院では毎日、他病院では2、3日おきに面会に行き、状態を聞き現状把握に努め、記録に残している。不穏があらわれる時など病院より面会の要求時はすぐに行くようにしている。又家族様と病院との連絡係りも行っている。	入院時は当院では毎日、他病院では2、3日おきに面会に行き、状態を聞き現状把握に努め、記録に残している。不穏があらわれる時など病院より面会の要求時はすぐに行くようにしている。又家族様と病院との連絡係りも行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方の指針を作成し、同意書に捺印して頂いている。終末期のはっきりした確認までには至っていないが、その時に家族様・医師・職員と話し合いを行っている。	重度化した場合や終末期のあり方の指針を作成し、同意書に捺印して頂いている。終末期のはっきりした確認までには至っていないが、その時に家族様・医師・職員と話し合いを行っている。	指針を作成し入居時に説明している。重度化した場合には段階的に関係者と意向を確認しながらケアをしている。家族の気持ちの変化を受け入れながら、医師の協力もあり支援ができています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応の仕方の勉強会実施している。又マニュアル整備し対応している。	急変時の対応の仕方の勉強会実施している。又マニュアル整備し対応している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を実施し、近所の方にも参加して頂いている。近所の方への連絡方法も併設施設であるくすの木の職員にして頂くようマニュアル化している。	年2回避難訓練を実施し、近所の方にも参加して頂いている。近所の方への連絡方法も併設施設であるくすの木の職員にして頂くようマニュアル化している。	災害時のマニュアルを作成し、消防署や業者の協力を得ながら、定期的に避難訓練を実施している。地域住民へも回覧板で協力依頼をし、参加していただいている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	認知症の勉強会を実施し、認知症の方の思いなどを知る事で、言葉かけや対応の仕方を学び実践するよう努力している。気になる時は朝礼時に注意を呼び掛けている。	認知症の勉強会を実施し、認知症の方の思いなどを知る事で、言葉かけや対応の仕方を学び実践するよう努力している。気になる時は朝礼時に注意を呼び掛けている。	法人内外の研修会に参加し、認知症ケアの質の向上に努めている。日常の実践の中で管理者より職員へ言葉かけ等の指導をしている。又接遇に関する専門的なアドバイザーより定期的に指導を受けていることも大きな効果に繋がっている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ケアプラン作成時、本人様の意向を聞くようにしている。又入浴時など1対1で話をする際に思い等をゆっくり聞くようにしている。	ケアプラン作成時、本人様の意向を聞くようにしている。又入浴時など1対1で話をする際に思い等をゆっくり聞くようにしている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	外出や買い物などの要求があった場合は、業務を調整して希望を聞くよう努力している。どうしても出来ない時は、日を改めて、いつ行くという約束をしている。	外出や買い物などの要求があった場合は、業務を調整して希望を聞くよう努力している。どうしても出来ない時は、日を改めて、いつ行くという約束をしている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理容では希望の店に行きたいと希望あれば送迎している。行事などがある場合は薄化粧などを希望者にはしている。	理容では希望の店に行きたいと希望あれば送迎している。行事などがある場合は薄化粧などを希望者にはしている。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	土曜日の昼食はお楽しみメニューということで、希望を聞いて取り入れている。硬いものが食べられない方には柔らかく煮たり、刻んだりして提供している。食材の皮むきなどお手伝いして頂いている。	土曜日の昼食はお楽しみメニューということで、希望を聞いて取り入れている。硬いものが食べられない方には柔らかく煮たり、刻んだりして提供している。食材の皮むきなどお手伝いして頂いている。	食事アンケートの結果をメニューに取り入れたり、下ごしらえ等入居者の力に応じて手伝っていただいている。楽しみや喜びに繋がるような時間を大切に、職員も同じテーブルを囲んで、楽しく会話しながらの食事となっている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量は1日1000cc以上を目標に提供し、毎食の食事摂取量を把握し、摂取量が少ない方には管理栄養士に相談し、対応している。	水分摂取量は1日1000cc以上を目標に提供し、毎食の食事摂取量を把握し、摂取量が少ない方には管理栄養士に相談し、対応している。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っている。言語療法士による、口腔ケアラウンドを毎月行っていただいている。そこで気になる点を指導していただいている。	毎食後、口腔ケアを行っている。言語療法士による、口腔ケアラウンドを毎月行っていただいている。そこで気になる点を指導していただいている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、排泄パターンを知り誘導している。日中はなるべくオムツの使用を減らし、布パンツを使用している。立位が困難な方に対しても職員二人対応でトイレ誘導している。	排泄チェック表を活用し、排泄パターンを知り誘導している。日中はなるべくオムツの使用を減らし、布パンツを使用している。立位が困難な方に対しても職員二人対応でトイレ誘導している。	排泄は身体機能の向上に繋がる大切な支援と考えている。排泄チェック等により個別のパターンを把握し、トイレでの排泄に至った事例も多く見られ、自立支援の成果も上がっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を活用し、排泄パターンを知り誘導している。日中はなるべくオムツの使用を減らし、布パンツを使用している。立位が困難な方に対しても職員二人対応でトイレ誘導している。	排泄チェック表を活用し、排泄パターンを知り誘導している。日中はなるべくオムツの使用を減らし、布パンツを使用している。立位が困難な方に対しても職員二人対応でトイレ誘導している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日入浴実施している。なるべく週3回以上入って頂く様にしている。拒否がある場合は時間帯をずらしたり、日にちを変更したりしている。又希望時は毎日でも入って頂く様にしている。	毎日入浴実施している。なるべく週3回以上入って頂く様にしている。拒否がある場合は時間帯をずらしたり、日にちを変更したりしている。又希望時は毎日でも入って頂く様にしている。	基本的には入居者の希望に添うよう支援している。入浴を嫌がられる方はケアの工夫により気持ちよく入っていただくよう配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自分の居室で休みたい方は居室で、ホールが良い方は畳の所に布団などを敷いて休んでもらったり、ホールのソファで休んでもらったりしている。	自分の居室で休みたい方は居室で、ホールが良い方は畳の所に布団などを敷いて休んでもらったり、ホールのソファで休んでもらったりしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬が処方された際、薬の説明書を毎回頂きケース記録に綴じですぐに確認できるようにしている。臨時に追加された薬については、日誌に状況と内容、いつまで服用かの指示を記入し、把握するようにしている。	薬が処方された際、薬の説明書を毎回頂きケース記録に綴じですぐに確認できるようにしている。臨時に追加された薬については、日誌に状況と内容、いつまで服用かの指示を記入し、把握するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴を把握し、食事作りのお手伝いや畑仕事が好きの方にはアドバイスを取りながら畑仕事をしたり、洗濯物たたみをして頂いたりしている。買い物が好きの方には付き添い外出に努めている。	生活歴を把握し、食事作りのお手伝いや畑仕事が好きの方にはアドバイスを取りながら畑仕事をしたり、洗濯物たたみをして頂いたりしている。買い物が好きの方には付き添い外出に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出の希望や気分転換の外出はその都度行っている。また、外食や弁当持っでのピクニックなどを行っている。1時間程度の外出で近所のファミリーレストランにお茶に行ったりしている。花見は家族様もして一緒に出かけている。	外出の希望や気分転換の外出はその都度行っている。また、外食や弁当持っでのピクニックなどを行っている。1時間程度の外出で近所のファミリーレストランにお茶に行ったりしている。花見は家族様もして一緒に出かけている。	入居者の希望に応じ、喫茶店やドライブ等の集団での外出、または個別の意向を尊重し、自宅や買い物など、臨機応変に戸外に出かけている。地域の商店の方とも顔なじみの関係ができてい	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持したいという希望がある方に関しては家族様と相談のうえ持っただけにしている。	お金を所持したいという希望がある方に関しては家族様と相談のうえ持っただけにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙や贈り物が届いた時は直接電話をかけ本人様と話をさせていただいている。又、本人様の希望時など電話で家族様と直接話をさせていただいている。	手紙や贈り物が届いた時は直接電話をかけ本人様と話をさせていただいている。又、本人様の希望時など電話で家族様と直接話をさせていただいている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節感のある花や置物を置いている。温度調整にも気をつけている。	玄関には季節感のある花や置物を置いている。温度調整にも気をつけている。	大きな窓から、暖かい陽がさし、ホールは明るい。室温や湿度も環境委員会により、適切に管理されている。ベランダには干し柿がつるしてあり、皆で作業した時の話題で賑わい、又一角には畳の間があり炬燵でゆっくり休まれる方もおられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	外の景色が見えるようにソファを置いて座っていただけるようにしている。又、畳の共有スペースにはコタツなどを置いて自由にくつろいで頂けるようにしている。	外の景色が見えるようにソファを置いて座っていただけるようにしている。又、畳の共有スペースにはコタツなどを置いて自由にくつろいで頂けるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	外の景色が見えるようにソファを置いて座っていただけるようにしている。又、畳の共有スペースにはコタツなどを置いて自由にくつろいで頂けるようにしている。	外の景色が見えるようにソファを置いて座っていただけるようにしている。又、畳の共有スペースにはコタツなどを置いて自由にくつろいで頂けるようにしている。	使い慣れた筆筒やソファなど持参され個性が感じられる居室となっている。又家族の写真を飾るなど入居者がほっとできる環境となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差はなく、又あらゆるところに手すりを設置している。転倒の危険性がある方に関してはセンサーマットや衝撃吸収マットなどを使用し安全性に十分配慮している。	段差はなく、又あらゆるところに手すりを設置している。転倒の危険性がある方に関してはセンサーマットや衝撃吸収マットなどを使用し安全性に十分配慮している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果			
		ユニットA	ユニットB	↓該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の	
				2. 利用者の2/3くらいの	
				3. 利用者の1/3くらいの	
				4. ほとんど掴んでいない	
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある	
				2. 数日に1回程度ある	
				3. たまにある	
				4. ほとんどない	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
				2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
				2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
				2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
				2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	

項 目		取 り 組 み の 成 果			
		ユニットA	ユニットB	↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
				2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と	
				2. 家族の2/3くらいと	
				3. 家族の1/3くらいと	
				4. ほとんどできていない	
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように	
				2. 数日に1回程度ある	
				3. たまに	
				4. ほとんどない	
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている	
				2. 少しずつ増えている	
				3. あまり増えていない	
				4. 全くない	
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が	
				2. 職員の2/3くらいが	
				3. 職員の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
				2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が	
				2. 家族等の2/3くらいが	
				3. 家族等の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	